

1年 1 (1) 解説	正の数・負の数	____年 ____組 名前

① ②

0より小さい数には負の符号－（マイナス）、0より大きい数には正の符号＋（プラス）を付けて数を表す。

㊦ 0より3小さい数 -3

㊧ 0より3大きい数 $+3$

④

ある事柄を正の数、または負の数を使って表したとき、表した事柄と反対の性質を逆の符号を付けることで表すことができる。

㊦ 1000円の収入 $+1000$ 円

↕

㊧ 1000円の支出 -1000 円

③ ⑥

0より小さい数を負の数といい、0より大きい数を正の数という。

㊦ -1 負の数

㊧ $+1$ 正の数

⑤

負の符号－（マイナス）の付いた数で表した事柄は、符号を変えて、反対の性質をもつ言葉で表すことができる。

-6 個多い

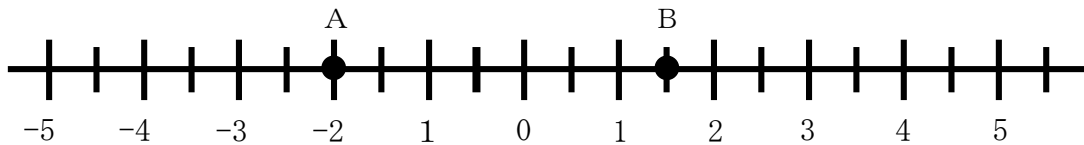
↕ ↕

$+6$ 個少ない

1年 1 (2) 解説	正の数・負の数	____年 ____組
		名前

1 2 5 6

数直線は、右にある数ほど大きい。



- ㊦ A . . . - 2
- ㊧ B . . . + 1.5

3 7

絶対値とは、数直線上で、0からある数までの距離をいう。

- ㊦ - 3 の絶対値 . . . 3
- ㊧ + 5 の絶対値 . . . 5

符号を外した数そのものの大きさを表せばよい。

4 8

数の大小を比べると、数直線上で右にある数の方が大きい。

- ㊦ 正の数の大小
絶対値が大きい数の方が大きい
 $+ 3 < + 5$
- ㊧ 正の数と負の数の大小
正の数の方が大きい
 $- 2 < + 2$
- ㊨ 負の数の大小
絶対値が小さい数の方が大きい
 $- 7 < - 5$
- ㊩ 3つの数の大小
不等号の向きをそろえて表す
 $- 3 < 0 < 2$